

選ばれ、信じられる理由がここに

# 富士通×レッドハットのLinuxソリューション

富士通とレッドハットのソリューションが安定性と拡張性、将来性に富んだICT環境を築く。

クラウド、デジタル変革の  
時代だからこそ、ICTでの  
オープンソース  
ソフトウェア活用が  
ビジネス成功のカギをにぎる



# ICT投資の問題を解決し、継続的な進化 それが、Linuxを核とした富士通とレッド オープン化により豊富な選択肢を提供し、

## ICT基盤見直しのカギは、 オープンソースソフトウェア技術の有効活用にあります

企業のマネジメント層やICT部門は、新たなビジネスモデルを支える基盤、ICTコストを削減するためのシステムの見直しなど、さまざまな課題を抱えています。それは過去にも繰り返されてきたことであり、今後も続いていくと考えられます。事実、経営環境は常に変化し、新しいテクノロジーは、今この瞬間にも生まれています。そこで重要となるのは、変化に対応しながら継続的な進化と成長のサイクルを生み出すICT基盤を確立することです。オープンで標準的な技術であるオープンソースソフトウェアを有効活用すれば、お客様主導でシステムのライフサイクルを確立できます。



### マネジメント層が直面するビジネステーマ

- 「ビジネス環境の変化に迅速に対応できるICT基盤の整備」
- 「アイデアを形にし、付加価値を生み出すICT基盤を構築したい」
- 「ICTを活用したマーケティングの充実や顧客満足度の向上」
- 「業務の見える化による意思決定の迅速化、収益の向上」
- 「ICTを活用して業務の標準化を行いたい」
- 「新しい顧客サービスの展開のために、クラウドネイティブに興味がある」・・・など

### ICT部門が直面するシステム課題

- 「複数のOS、ソフトウェア、ハードウェアが混在し、ICT基盤が複雑化」
- 「特定のベンダーに依存しているソフトウェア、ハードウェアがある」
- 「システムのリプレースを考えているができるだけ過去の資産を活かしたい」
- 「運用の負荷とコストを減らし、新しいシステムの企画に注力したい」
- 「コストパフォーマンスに優れたIAサーバを有効に活用したい」
- 「コンテナを活用して、タイムリーにサービスを提供していきたい」・・・など

# と成長のサイクルを生み出す。 ハットのICTソリューション。 仮想化、クラウド構築にも最適。

## 富士通とレッドハットは、LinuxベースのICT基盤で 安心・安全・安定、継続的な成長を実現します

富士通とレッドハットが提供するLinuxベースのシステムなら、オープンソースソフトウェアのメリットを活かしてICTのライフサイクルとお客様のビジネスのライフサイクルを同期させ、安心・安全・安定したICT基盤の上で継続した成長を実現できます。

業務停止が許されないメインフレームやUNIXなどの  
ミッションクリティカルシステムで培ったソリューションをLinux環境でも提供。  
基幹システムからWebアプリケーションまでIAサーバで統一できるので、  
複雑性も解消します。また、クラウド適用の実績も豊富で、  
お客様業務の変化に柔軟に対応でき、継続的な成長に貢献します。



### 今なぜオープンソースソフトウェアなのか？ ～世界中の技術者がコミュニティを通じて継続的に機能強化～

オープンソースソフトウェアはコミュニティを通じ、全世界の技術者や開発企業によって継続的に機能強化され、基幹システムにも適用可能なソフトウェアとして着実に成長を遂げています。また、ソフトウェアの仕様が公開されているため、Slerやソフトウェアベンダーがより高品質なサポート・サービスを提供できるうえ、お客様の業務ニーズへの最適化も容易です。さらに富士通はレッドハットとの協業・協力体制の下で、Linuxをはじめとしたオープンソースソフトウェアの機能強化や信頼性確保に尽力。富士通のミドルウェアやアプリケーションなど、お客様に対して常に豊富な選択肢をラインナップすることで、費用対効果に優れたソリューションを提供します。

### ICT基盤でのオープンソースソフトウェア活用において、 富士通とレッドハットが選ばれ、信じられる理由

- ・世界標準のLinuxを日本発のソリューションへ ..... P.4-5
- ・基幹業務からクラウドにおよぶ幅広いカバレッジ領域 ..... P.6-7
- ・高信頼・高可用なコンテナ基盤提供サービス ..... P.8-9
- ・システム運用に合わせたサービスレベルを提供 ..... P.10
- ・99%以上を富士通内で解決できる安心 ..... P.11
- ・お客様のビジネスに最適なシステムを構築する技術力 ..... P.12

# 世界標準のRed Hat Enterprise Linuxを送 国内ベンダーNo.1のLinuxカーネル開発実績 長年にわたる強力なアライアンスで、日本発

## ミッションクリティカルな領域で選ばれ、 世界標準となっているRed Hat Enterprise Linux

Red Hat Enterprise Linuxが世界標準となっている理由は、費用対効果＝コストだけではありません。事実、ニューヨーク証券取引所(NYSE)など、コマ数秒単位でも遅延が許されない金融業界をはじめ、ミッションクリティカルな領域での採用が進んでおり、メインフレームレベルの信頼性を実現しています。さらに、標準的な技術、低コストなどのオープンソースソフトウェアのメリットを活かして、クラウド(SaaS、PaaS、IaaS)の分野での導入も加速。複数のOSが混在するICT基盤を共通化するプラットフォームとしても注目されています。

## 長年にわたる富士通とレッドハットとの強力なアライアンス

富士通とレッドハットは、2003年のミッションクリティカル領域でのLinuxソリューション提供のグローバル提携を皮切りに、業界初となる共同開発推進室の設置やミッションクリティカル向けサポート・サービスの提供などで協業関係を強化してきました。それは、単にサポートだけにとどまらず、コミュニティやレッドハットとのアライアンスを通じて、Linuxの開発にも寄与しており、そのノウハウもお客様のシステム構築に活かされています。また富士通では、日本国内だけでも400名を超える専任の技術者がLinuxの開発・サポートに携わっており、Linuxカーネル(OSの基本をなすコア技術)の開発実績は国内ベンダーNo.1。関連ソリューションの技術者はさらなる多数に。その技術力と人員を活かしてさまざまな問題に迅速対応し、お客様のICT基盤へのLinux導入を力強く支援する体制を整えています。

### 富士通とレッドハットの協業体制

#### サポート・サービス

- ・長期間サポートストリーム、高いSLA
- ・年一回の計画保守によるUpdate適用

➤お客様からのフィードバックにより実現

### 世界トップクラスの強い協業関係

#### エンジニアリング協業

- プロダクト・エンジニアリングの幹部と定例

➤富士通の高い技術力が基盤

#### ビジネス推進協業

- 両者のエクゼクティブ間で定例

➤富士通の多数のサポートボリュームが基盤

### 富士通とレッドハットの協業の歩み

2003年 Linuxの  
基幹システム  
適用に向け  
協業開始、  
仮想化/  
クラウド  
へ拡大

2003 **OEMビジネス (Red Hat Enterprise Linux)**  
- Linuxの基幹システムに向け日本企業初のグローバル契約を締結  
- 共同開発推進室を立上げLinuxを強化

2005 **基幹IAサーバPRIMEQUEST + RHEL出荷開始**  
- 3社協業(インテル, Red Hat, 富士通)

2008 **Advanced Mission Critical (AMC) 契約締結**  
- 基幹システム要件の長期保守を実現する  
AMCプログラム構築(東京証券取引所導入)

2011 **クラウドパートナー契約、S5提供**  
- 日本企業初/世界で3番目に

2014 **Red Hat OpenStackのOEMサポート提供開始**

2016 **AMCクラウド提供(K5)**

2018年より  
コンテナ・  
マネージド  
サービスへ  
協業領域  
を拡大

2018 **Red Hat OpenShift OEM契約締結**  
Jan. - 協業をコンテナ分野に拡大

Apr. **Red Hat OpenShiftサポート提供開始**  
- オンプレミス/FJCS for OSS

Jun. **Red Hat OpenStackをFJCS for OSSに採用**  
- 基幹システムのクラウドシフトを支えるクラウド基盤の提供

2019 **OpenShiftマネージドサービス提供開始**  
Jul. - コンテナアプリ開発/保守基盤利用サービスの提供開始

Nov. **富士通FX1000 + RHEL for ARM出荷**  
- SVE/仮想化に対応

Dec. **OpenShift Managed Practice Program 参加**  
- 協業をPaaS分野に拡大

## サポートに対価を支払うからこそ、それを担い、システムを構築するベンダーが重要

Red Hat Enterprise Linuxは、サポートに対価を支払うサブスクリプションモデルが採用されています。だからこそ、サポート体制とLinux上でシステムを構築するベンダーが重要となります。富士通のサポート・サービス(SupportDesk Standard)では、レッドハットが提供するサブスクリプションを含めて、富士通の一

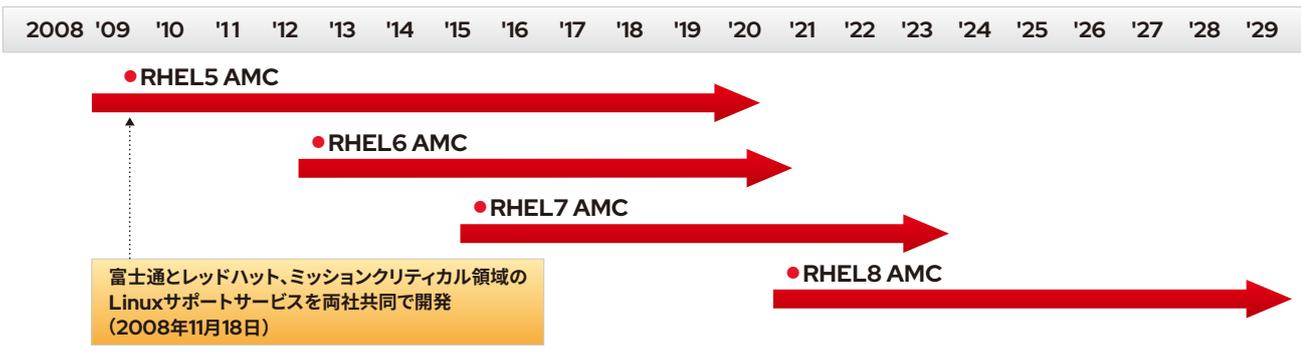
括サポートとしてお客様に提供しているので、安心してご利用いただけます。万一のトラブル発生時には、問題箇所の特定や復旧支援をOSC(One-stop Solution Center)が窓口となって一括対応。コストパフォーマンスに優れた信頼性の高いICT基盤をトータルに提供します。

# り出したレッドハット。 を誇る富士通。 の長期利用可能なLinux ICT基盤を提供。

## 日本のお客様の声に耳を傾け、 2社共同でミッションクリティカルシステム向けLinuxソリューションを提供

2008年11月、富士通とレッドハットは世界トップクラスの強力な協業関係を活かし、世界初となるLinuxのミッションクリティカル向けサポート「Red Hat Advanced Mission-Critical Program (AMC)」の提供を開始しました。AMCは、富士通が中心となって日本国内のお客様からの要望をベースに開発した日本発のLinuxソリューションです。AMCにより、ミッションクリティカルシステムに求められる高SLA、長期サポートを実現することで、Linux適用領域がさらに拡大しました。AMCはその後、幅広いベンダーに採用され、富士通のLinuxに対する先見性と業界におけるリーダーシップが認められまし

た。また、2012年4月、富士通は、RHEL5 AMCの実践で得られたノウハウやお客様の要望をRHEL6 AMCへフィードバックし、AMCを改良、対象マイナーリリースの増加・修正提供期間の拡張を実現しました。さらに、富士通とレッドハットは、開発プロセスからサポート・サービス、ドキュメントまでの細部にわたる改善事項まで、両社のお客様が満足する施策を、両社の幹部を交えてフェイスtoフェイスで議論し、コミットメントしています。これにより、ビジネス推進、エンジニアリング、サポート・サービス改善に至るまで、共同でLinuxに対する情報提供、新機能開発、サポート強化などを実現します。



## ミッションクリティカルシステムに求められる長期サポートをシステムトータルで実現

富士通では、定型的な業務サービスを長期にわたって安定供給しなければならない社会システムへの適用ニーズや、基幹システムの長期稼働ニーズにお応えるために、サーバ、ストレージ、ミドルウェアの長期サポートを提供しています。さらに、レッドハットとの協業によ

るAMCの提供により、システムトータルでの長期安定稼働を実現します。ICT投資が抑制傾向にあるなかで、システムの長期稼働ニーズは拡大しており、社会システムや金融機関を中心に2,000システム以上の企業で適用されています。



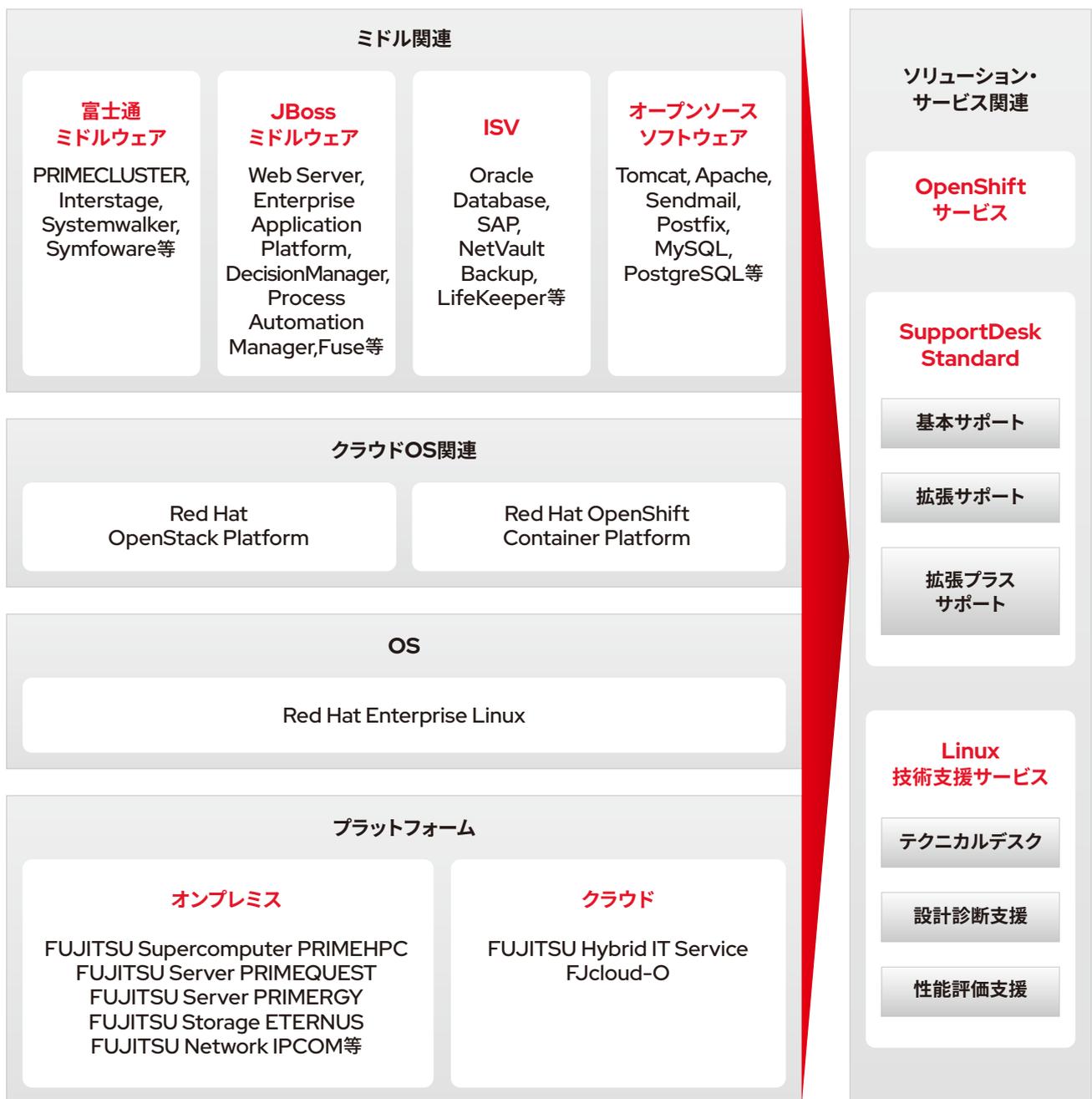
# ハードウェアから、ミドルウェア、アプリケーション 幅広いニーズに応えられる富士通のトータル オープンソースソフトウェアやOpenStack開発

## ハード、OS (Linux)、ミドルウェアを含めたトータルソリューションを検証環境とともに提供

富士通は、サーバプラットフォーム+Linuxだけでなくミドルウェアを含めたトータルなソリューションを提供。さらに、各種サービスやクラウドと組合せることで、お客様の業態やニーズにあわせた最適なICT

基盤を提供します。また、富士通のトラステッドクラウドスクエアにて、お客様の検証環境を提供。導入前に、事前検証をすることで、スムーズかつスピーディな導入が可能となります。

### ICT基盤を支える富士通とレッドハットのソリューション



# ソリューションまでをLinuxに最適化し、お客様のソリューション。700名規模の推進・サポート体制により、クラウド時代をリード。

## FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O

お客様の基幹システムのクラウド化に向けて、安心安全な国産クラウドを提供

富士通では、世界トップベンダーの技術を採用した基盤を利用している、エンタープライズ品質の国産クラウドとして、「FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O」を提供しています。富士通が培ってきた基幹システム運用のノウハウやお客様の声を反映して進化し続ける「FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O」は、お客様の基幹システムのクラウド化をトラステッドに実現します。「FUJITSU Hybrid IT Service

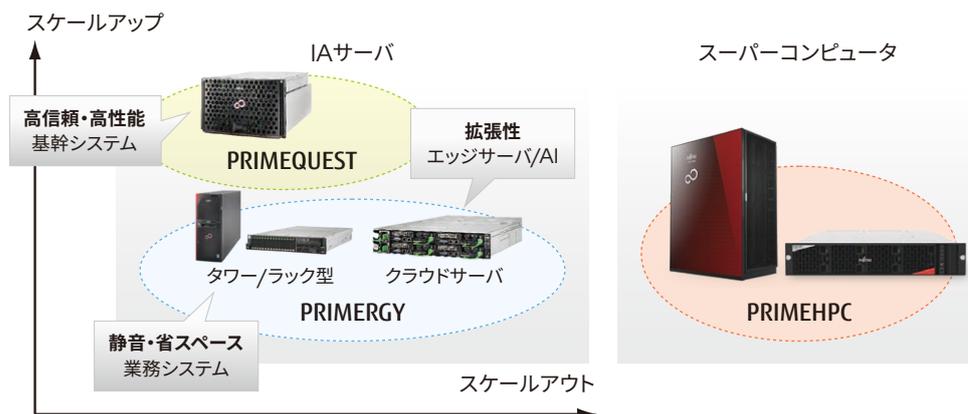
FJcloud-O」はクラウド基盤にRed Hat OpenStack Platformを、ホストOSにRed Hat Enterprise Linuxを採用しており、ゲストOSのRed Hat Enterprise Linuxにはオンプレミス環境と同様に長期サポート:AUS(Advanced Mission Critical Update Support)を提供しています。これにより、お客様は長期間に渡って安定した運用が可能となります。(クラウドでAUSを提供できるのは富士通だけです)



## IAサーバのスケールアウト、スケールアップに加え、スーパーコンピュータにも対応

富士通では、静音性と省スペースを実現したオフィス利用に最適なタワーサーバと高集積・省電力設計と高性能アーキテクチャを兼ね備えたラックサーバをラインナップするPCサーバ「PRIMERGY」と、デジタル時代を支える基幹業務システムや大量データの超高速処理に適した高信頼な基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」、スーパーコンピュータ「富岳」に採用されたテクノロジーを適用した最新鋭スーパーコンピュータ「PRIMEHPC」を提供しています。PRIMERGYは、最新テクノロジーの採用や省電力性の追求など、使いやすさとコストパフォーマンスに優れたグローバルスタンダードサーバです。主にスケールアウト型システムの中核プラットフォームとしてお客様は

ビジネスの拡大に貢献します。一方、PRIMEQUESTは、内部コンポーネントの徹底的な冗長化や高可用性技術の採用など、メインフレームクラスの信頼性を有するオープンミッションクリティカルサーバです。高信頼だけでなく、その卓越した高性能とスケーラビリティにより、お客様システムの安定稼働を支えます。PRIMEHPCは、最大で1.3エクサフロップス以上の理論演算性能を実現できる高性能、高拡張性に加え、メインフレームクラスの信頼性と世界最高レベルの省電力性を併せもったスーパーコンピュータです。エクサスケール時代におけるスーパーコンピュータを活用した社会的課題の解決や最先端研究の推進、企業競争力の強化などを加速させることが可能となります。



# 高信頼・高可用なコンテナ基盤をご提供す それが富士通の「コンテナアプリ開発・保守 コンテナアプリの開発・稼働をご支援するた

## コンテナアプリ開発・保守基盤利用サービス

「FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O コンテナアプリ開発・保守基盤利用サービス」(以下、コンテナ基盤サービス)はお客様のコンテナ基盤の構築から運用、保守までを一貫して富士通で実施するサービスです。また、お客様が安心してご利用いただけるように追加オプションサービス(プライベート接続、災害対策)をご提供します。本サービスをご利用になることで、お客様は信頼性、可用性、セキュリティが考慮された構築済みのコンテナ基盤を短期間で入手でき、すぐにアプリ開発に取り組みます。さらに、富士通がIaaSからコンテナ基盤まで運用・保守・ワンストップサポートを実施するため、コンテナアプリの稼働に伴うお客様の負担を軽減できます。

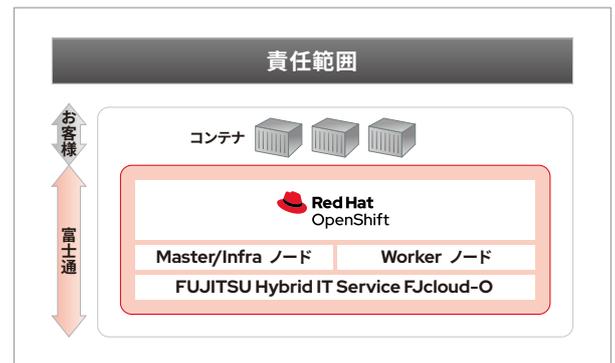
### 構築・運用・保守の負担を富士通にオフロード

#### ■構築済みコンテナ基盤を提供

富士通がFUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O (以下、FJcloud-O)にコンテナ基盤を設計・構築し、お客様にご提供します。そのため、ハードウェアの調達と設定、コンテナ基盤ソフトウェア(OpenShift)のインストールが不要で、すぐにアプリ開発に取り組みます。

#### ■運用・保守も富士通が実施

当社の技術者がコンテナ基盤の監視、メンテナンス(OS、OpenShiftへのセキュリティアップデートの適用等)を実施します。そのため、お客様がコンテナ基盤の運用・保守をする必要はなく、アプリ開発に集中できます。



### 富士通ならではの特長

富士通が基幹システムの構築・運用で培った技術やノウハウを活かし、高信頼・高可用なコンテナ基盤をご提供します。

#### ■高信頼・高可用なコンテナ基盤

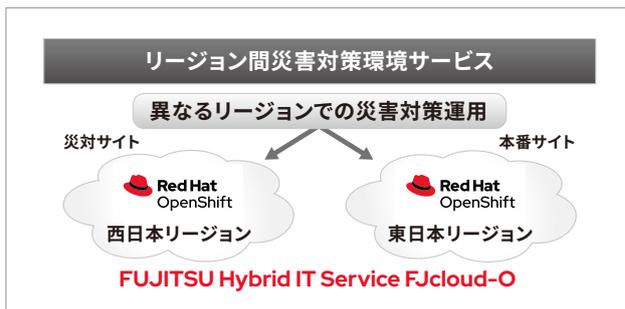
インフラ、コンテナ基盤ともに冗長化されたアプリ実行環境をご提供しています。2020年度では東西リージョンの災害対策オプションをご提供予定です。

#### ■プライベート接続によるコンテナ基盤サービスとオンプレミスの連携

コンテナ基盤サービスとオンプレミスで稼働するシステム間をつなぐ閉域網サービスのオプションをご提供します。これにより、システム間で機密データを安全に通信することができます。

#### ■第三者認証を取得したセキュアな環境

第三者認証(PCIDSS、FISC等)を取得した、セキュリティが担保されている基盤上にサービスを構築しています。基盤に加えサービスも第三者セキュリティ認証を取得することで、お客様に見える形で安全性を保障していきます。



# 「クラウドサービス。基盤利用サービス」。 め、運用・保守の負担を富士通にオフロード。

## 高信頼コンテナ基盤OpenShiftを採用

本サービスのコンテナ基盤としてRed Hat OpenShift Container Platform (以下、OpenShift)を採用しています。OpenShiftの以下の特徴により、お客様はセキュアな環境で効率的にアプリ開発を進められます。

### ■お客様の既存アプリ資産を継続利用

OpenShiftはミッションクリティカル領域で実績豊富なRHELベースのOS上で稼働するため、お客様がこれまでRHEL上で開発した既存アプリ資産をコンテナ基盤へ移行して継続利用できます。

### ■コンテナ開発・運用に有用なツール群

オープンソースソフトウェアのコミュニティで開発される多くのツールの中から、コンテナ開発・運用を効率化するために組み合わせられ、検証されたツールが利用できます。例えば、アジャイル開発で使用されるCIツール(Jenkins)がご利用いただけます。

### ■検証済みのセキュアなコンテナイメージ

脆弱性対応として常にセキュリティ検査済みのコンテナイメージが提供されるため、安心してコンテナアプリ開発ができます。



## OpenShift導入・運用に伴う技術的なお悩みを解決 プロフェッショナルサービスとサポート

コンテナ基盤サービスに加え、技術支援サービスをご用意しており、お客様のOpenShift活用に対する技術的なお悩みにお応えします。また、オンプレミスにおけるOpenShift導入・運用に向け構築支援サービス、SupportDesk Standardを併せてご用意しております。

### ■技術支援サービス

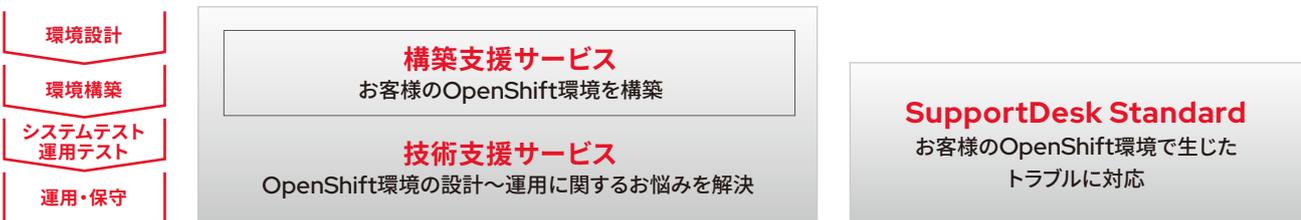
コンテナ基盤サービスで蓄積した知見を活かし、お客様の基盤設計／機能検証で生じるお悩みにスポット対応します。

### ■構築支援サービス

富士通がオンプレミス/FJcloud-O IaaSにおけるお客様のOpenShift環境構築作業を代行します。コンテナ基盤サービスを利用せず、お客様自身でOpenShift環境を運用・保守される場合にお勧めするサービスです。

### ■SupportDesk Standard

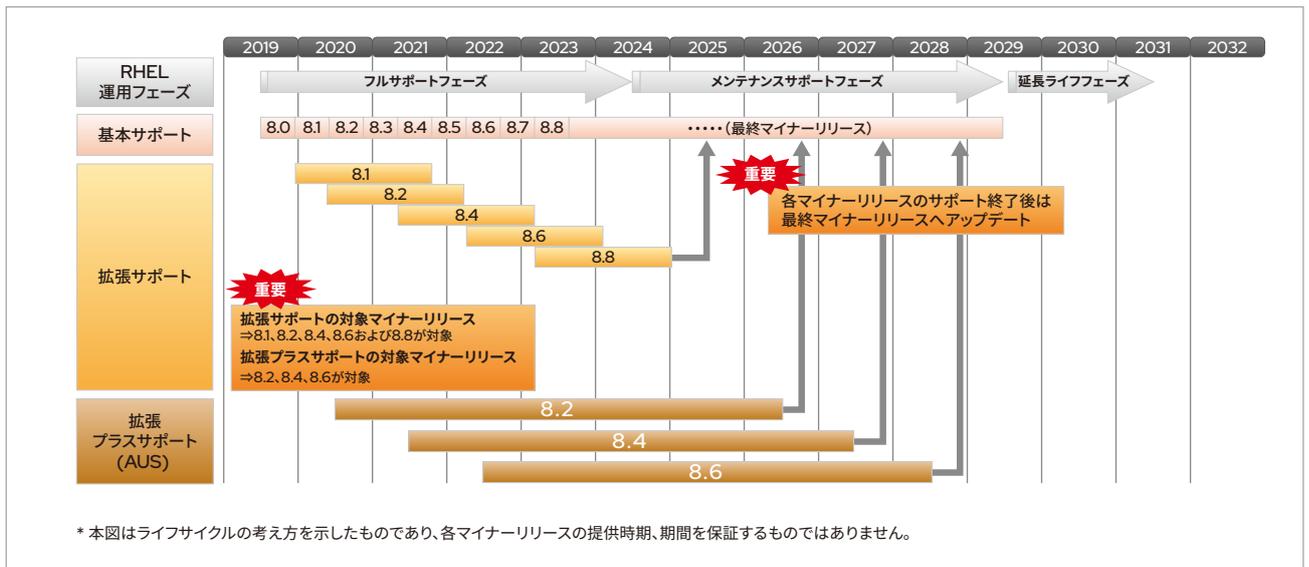
オンプレミスのOpenShift環境で生じたハードウェア/ソフトウェアに関するお客様の様々な問題を富士通がワンストップで調査・解決します。富士通は国内No.1のKubernetes開発実績(\*)があり、OpenShiftについてもソースレベルでトラブル解決できます。\* 2020年3月時点 富士通調べ



ミッションクリティカルからWebフロントまで  
幅広いお客様システム運用要件や運用コストに合わせた  
サポートラインナップを提供

お客様のシステム運用に合わせたRHELサポートを提供

富士通が提供するRHELサポートは、常時最新のOSSバージョンを必要とする業務向けにはRHEL基本サポートを、計画的な保守作業が必要となる業務向けにはRHEL拡張サポートを、高度な安定運用、継続運用を求められる業務向けにはRHEL拡張プラスサポートを、といったお客様のシステム運用要件に応じたサービスレベルを選択いただけます。



RHEL拡張プラスサポートは最長6年間同一マイナーリリースを運用可能

レッドハットと共同開発したRHEL拡張プラスサポートは、特定のRHELマイナーリリースを最大6年間運用可能とします。これにより、高度な安定運用、業務継続を実現するだけでなく、大幅なシステム運用コスト削減につながります。容易に停止することのできない社会システムや企業の基幹業務システムといったミッションクリティカルシステムを適切なコストで運用するのに最適です。

	拡張プラスサポートなし	拡張プラスサポートあり
<p><b>安定運用</b> 稼働したシステムにはなるべく手を入れたくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害修正は最新マイナーリリースに対してのみ提供されるため、定期的なマイナーリリースアップが必要</li> <li>マイナーリリースには機能追加などが含まれるため非互換が心配、検証のための追加工数も発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修正提供期間中はマイナーリリースアップが不要となるため、非互換の心配を排除</li> <li>従来は複数回必要だったマイナーリリースのアップデート回数が大幅に削減、これに合わせて検証工数も削減</li> </ul>
<p><b>継続運用</b> システムのメンテナンス時間が確保できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間365日の連続運用を求められるため、容易にシステムを停止できない</li> <li>システム停止時間を確保できても、長時間の作業時間は確保できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アップデートを伴わないため修正の適用時間のみ</li> <li>計画停止に合わせて修正適用することが可能</li> </ul>
<p>拡張プラスサポートなし</p>	OS保守費用	システムアップデート費用
<p>拡張プラスサポートあり</p>	OS保守費用	大幅減

\* 本図は毎年最新マイナーリリースアップデートを行う場合と拡張プラスサポートによりシステムライフサイクル中一度もマイナーリリースアップデートを行わない場合を比較した例となります。

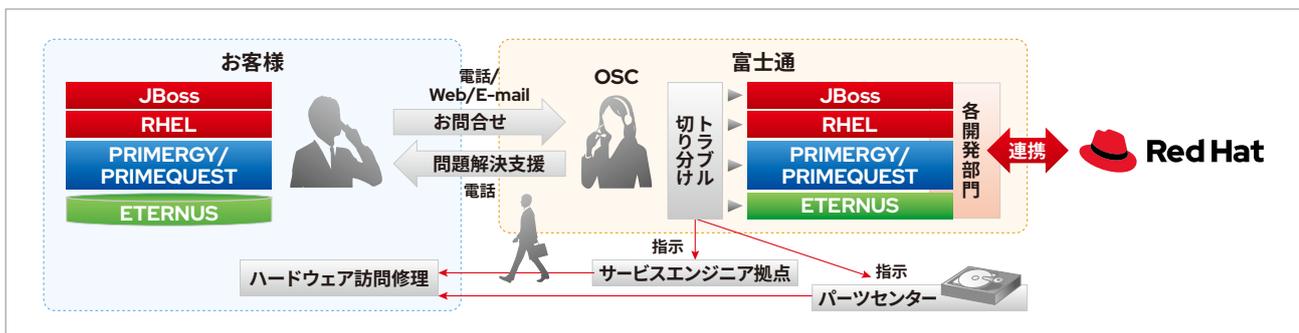
## FUJITSU Managed Infrastructure Service SupportDeskで Linuxはもちろん、ハードウェアやミドルウェアも ワンストップサポート

### Red Hat 製品取扱一覧(\*1)

- Red Hat Enterprise Linux
- Red Hat OpenShift Container Platform
- Red Hat OpenStack Platform
- Red Hat Satellite/Smart Management
- Red Hat JBoss Middleware

### ハード／Linux／ミドルウェアの問合せ窓口一本化で一括サポート

- Linuxはもちろん、FUJITSU Server PRIMERGY/PRIMEQUEST、Red Hat JBoss Middlewareをはじめとするミドルウェア製品に関するお問合せを富士通サポートセンター(OSC(\*2))が受け付け、一括サポートを実施します。一括サポートにより、お客様負荷を軽減し、問題の早期解決を強力に支援します。
- 万一Linux関連のトラブルが発生した場合でも、99%以上富士通内で解決できるので、迅速に対応可能。お客様の業務停止時間を最小限に抑えます。Linux専門技術者によるQ&A対応、問題解決支援、修正情報の提供などのLinuxサポートにより、お客様システムの安定稼働を強力にバックアップします。さらに米国レッドハット内に設置した「共同開発推進室」を通じた緊密な連携により、より高度かつ高品質なサポートをご提供します。
- 企業向けアプリケーション基盤を提供するRed Hat JBoss Middleware製品について、富士通は、レッドハットのJBossパートナーの中で最上位に位置づけられているJBoss Premier Business Partnerに認定されています。お客様システムの運用面でレッドハットのテクニカルエンジニアと連携した高品質なサポートをご提供します。
- ハードウェアのトラブル時は、全国最大級のサービス拠点より、2時間以内(\*3)に訪問修理を実施します。



- 製品保守・サポートを実施する基本サポートに加え、お客様の運用条件に応じたサポートを実施する各種オプションサービスをご用意。富士通がこれまでに蓄積した豊富なシステム運用支援の経験と技術により、お客様システムの安定稼働を支えます。



(\*1) ラインナップは順次拡大中です。詳細は弊社営業または販売パートナーまでお問合せください。(\*2) OSC: One-stop Solution Center SupportDeskご契約のお客様専用の総合サポートセンター (\*3) サーバをStandard契約した場合の目標値。交通事情/天候/対象機器の設置地域などにより、サービスエンジニアの到着が当日2時間を超える場合や翌営業日の対応になることもあります。

## Linuxを知り尽くした富士通のプロフェッショナルが お客様のビジネスに最適化したICT基盤の構築を強力に支援。

富士通が提供するLinux技術支援サービスは、お客様システムの設計、構築、およびテスト工程において、最新の知識を持ったLinux専任技術者が迅速かつ、的確なアドバイスで課題解決に導き、システムの早期・安定稼働の実現を支援するサービスです。用途に合わせて、「Linuxテクニカルデスクサービス」「Linux設計診断支援サービス」「Linux性能評価支援サービス」を提供します。

お客様システムの設計・構築、テスト工程を  
Linux技術支援サービスにより強力にバックアップ

### Linux 技術支援サービス

Linuxテクニカルデスクサービス  
(設計技術支援)

Linux設計診断支援サービス  
(設計値レビュー)

Linux性能評価支援サービス  
(システム性能評価)

### Linuxサポート (SupportDesk)

プラット  
フォーム  
選定

要件定義  
方式設計  
環境設計

環境構築

システム  
基盤テスト

システムテスト  
運用テスト

運用保守

仮想化やUNIX to Linuxにフォーカスした  
技術ドキュメントを提供することで最適なQCDを実現

### Linux仮想化機能利用ガイドラインナップ

基礎編	RHEL KVMによる仮想システムの基本的な設計、導入、運用、および保守について解説
サイジング編	RHEL KVMによる仮想システムのサイジングを行う際のノウハウについて解説
セキュリティ編	RHEL KVMによる仮想システムで資源アクセス制御、ネットワークセキュリティを確保するためのノウハウについて解説
チューニング編	RHEL KVMによる仮想システムのチューニングノウハウについて解説
移行編	既存の物理サーバ環境や既存の仮想マシン環境 (VMwareまたはRHEL5-Xen) をRHEL KVM環境へ移行するためのノウハウについて解説

### UNIX to Linux移行ガイドラインナップ

インフラ構築・ 運用保守編	UNIXからRHELに移行する際、設計、導入、運用保守における非互換情報について解説
アプリケーション編	UNIXからRHELに移行する際、アプリケーション移植に必要な作業項目について解説
移行チェックツール	UNIXからRHELに移行する際、言語資産 (C言語、シェルスクリプト等) の各種非互換箇所を検出するツール



今、仮想化による統合やクラウドネイティブによるシステム開発が急速に加速しています。そこで鍵となるのがオープンなテクノロジーです。Linuxやオープンソースソフトウェアを活用すれば、最新の技術を取り入れつつ将来にわたり、柔軟なICT基盤を手にできます。

**富士通とレッドハットのLinuxソリューションなら、  
お客様のビジネスに最適化したICT基盤を構築できます。**



富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
<https://www.fujitsu.com/jp/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン TEL: 0120-933-200 受付時間 9:00~17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)



レッドハット株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート  
TEL: 03-5798-8500 (代表)  
<http://www.jp.redhat.com>